

改修工事の進捗状況について (平成30年7月～平成30年10月)

西部クリーンセンターにおける基幹的設備改良工事の進捗状況をお知らせします。

2期目の工事の実施

工事は主要な機器が立体的に重なる構造であること、作業員の安全確保、さらに、ごみ処理を継続して行う必要があることから、工期を4期に分けて施工していく計画としております。

2期目の工事を行い、一部の機器の更新を行いました。現在は、3期目の工事に向け、更新部品の工場製作や詳細な施工計画を作成しております。

主な整備及び更新

【受入供給コンベヤ】

軸、軸受け、外装等の部品を更新し、機能回復しました。

【No.1破砕物搬送コンベヤ】

コンベヤベルト、軸受け、外装等の部品を更新し、機能回復しました。

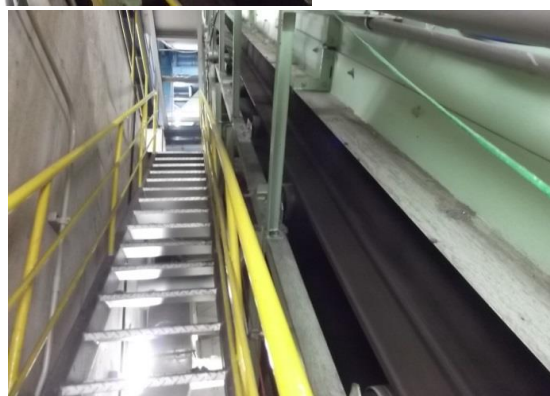
【受入供給コンベヤ】



更新前

更新後

【No.1破砕物搬送コンベヤ】



(更新前)

4階

25m

地階

砕かれたごみを運ぶベルトには、部屋のようなものがあり、長さは約80mあります。水平方向で27m、垂直方向で25m先の次のコンベヤまで運んでいます。



カバーを外して、地下
よりベルトを引き抜い
て...



(更新後)

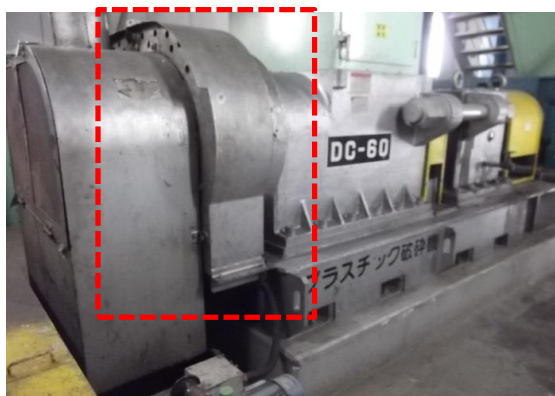
完成!



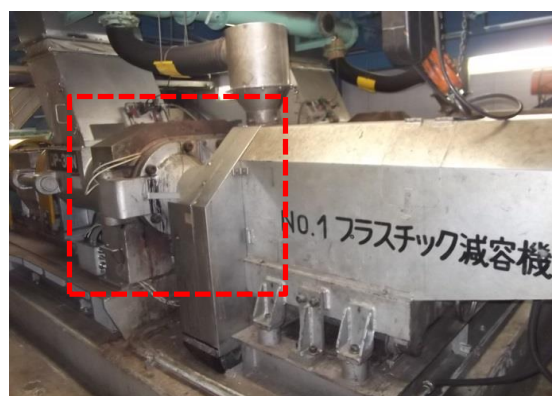
【プラスチック破碎機、プラスチック減容機】

先端バレルを更新し、機能回復しました。
先端バレルとは、破碎されたプラスチックごみを押し出す部分の部品で、熱を加えて圧縮し、次の処理工程を可能とさせるための部品です。

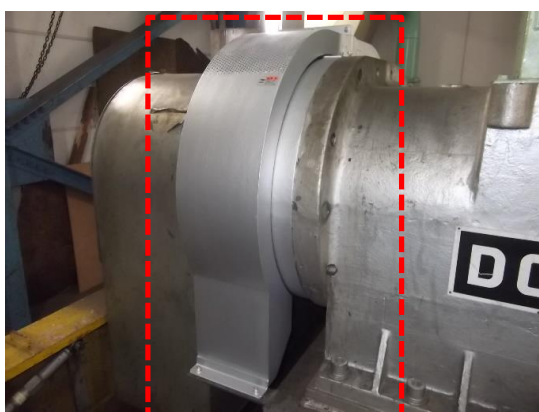
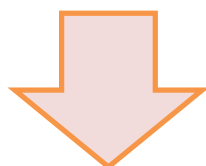
【プラスチック破碎機】



【プラスチック減容機】



更新前



更新後

引き続き、ご協力をお願いします。m(____)m